

内閣府、地区防災Z及び地区防災計画学会連携シンポジウム

6.22
オンライン開催

地区防災計画制度施行十一年
地区防災計画の現状と課題

昨年の能登半島地震は、大きな被害をもたらしましたが、災害の拡大を防いだ地区防災計画づくりをはじめとする日頃からのコミュニティの防災活動が、改めて注目を浴びています。このたび、内閣府、地区防災計画を推進する自治体ネットワーク（地区防災Z）及び地区防災計画学会が連携し、地区防災計画の取組を支援してきた自治体職員等を交えて、地区防災計画制度の現状とその課題について、意見交換するシンポジウムを開催します。地区防災計画制度の実効性を高めるため、学術的知見と実践現場の連携を強化し、地域主体の防災計画の深化・普及について、学術研究者・自治体職員・国（内閣府）の三者が共通の視点で課題を共有し、協働による知見の蓄積と発信を目指します。



矢守克也会長



加藤孝明副会長

冒頭挨拶

後藤隆昭

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）

登壇者

矢守克也

京都大学教授（地区防災計画学会会長）

加藤孝明

東京大学教授（地区防災計画学会副会長）

鍵屋 一

跡見学園女子大学教授

山中晶一

高知県高知市防災政策課長（地区防災Z）

高橋和利

福知山市災害時ケアプラン推進係長（同上）

松村直子

元沖縄県北谷町職員・Life+Life laboratory代表（同上）ほか

総合司会

坊農豊彦

地区防災計画学会理事・事務局次長（大阪公立大学UReC特別研究員）

日時 2025年6月22日（日）13：30～16：30（予定）

場所 オンライン開催（YouTubeによる同時配信）

主催 地区防災計画学会

協力 内閣府防災担当・地区防災計画を推進する自治体ネットワーク（地区防災Z）

対象 地域防災力の強化や地区防災計画づくりに興味のある方

参加費無料・事前申込制（詳細は地区防災計画学会HP参照）

連絡先 地区防災計画学会事務局

540-6305 大阪市中央区城見1-3-7 松下IMPビル5階

一般財団法人関西情報センター気付

MAIL: infoアットマークgakkai.chiku-bousai.jp

（※アットマークを@に変更して御送信ください。）



みんなでつくる地区防災計画

地区防災計画学会